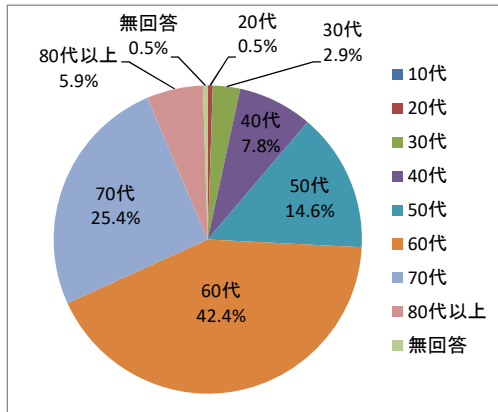


平成30年度(第24期)にいがた市民大学
前期講座アンケート結果 全講座(5講座)分

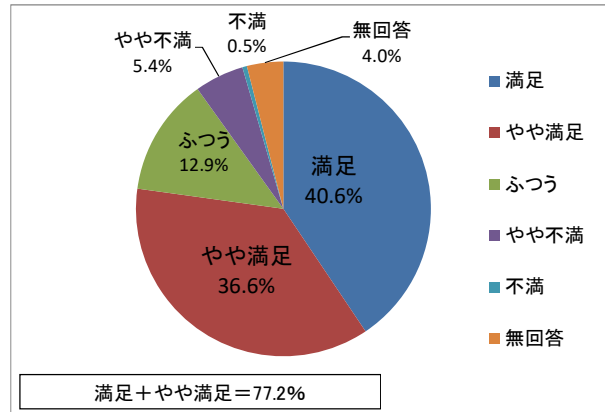
平成30年6月～平成30年9月実施 回答率:52.9%(207/391)

講座名	受講者数	アンケート協力者数	回収率
テレビ 過去・現在・未来	46	22	48%
日常生活を科学の力で考える	64	45	70%
人生の節目を考える	82	43	52%
開港都市に選ばれた「新潟」	128	57	45%
最新のがん対策	71	40	56%
計	391	207	53%

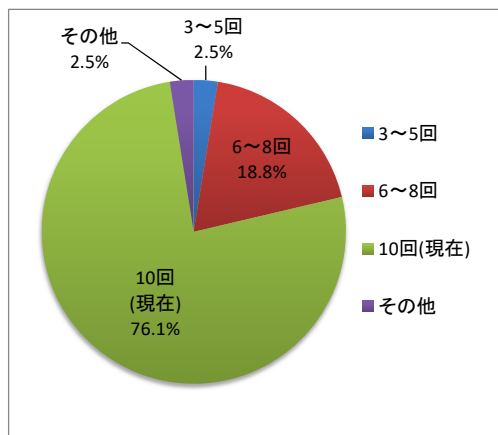
1 年代



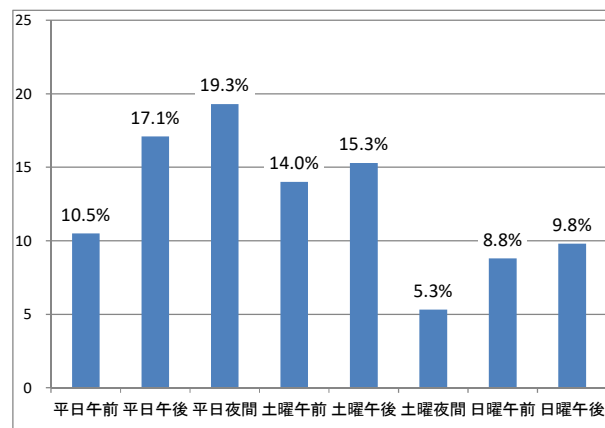
2 満足度



3 希望講座回数



4 希望開催時間帯



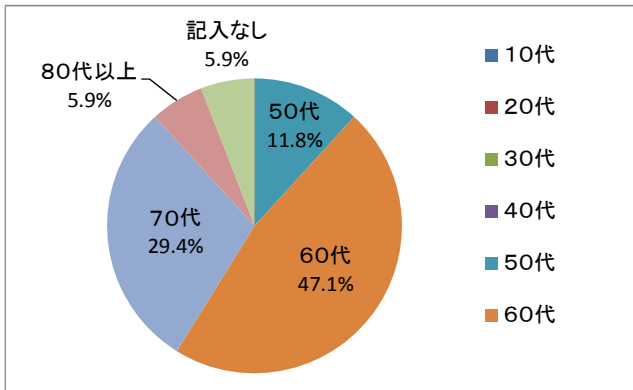
5 自由意見, 感想

- ・講座の配布資料について、充実している回と不足している回があり、充実した資料に基づいた講座を期待する。
- ・テーマに興味を持って受講すると、想定以上に分かりやすく内容が充実していて(今回以外は)レジメも見やすく、聞き漏らしたことも事も補われ満足度はいつも高かった。今回は日常生活の科学といえども、苦手な者にはハードルが高かった。
- ・初めて市民大学を受講しました。募集案内やチラシを読んでイメージしていた内容と異なる回もありましたが、総じて想像していたよりしっかりした内容だと感じました。発達段階ごとにテーマを設定したせいか、全10回を通してのメインテーマのようなものがわかりにくかったように感じました。話のわかりやすさも講師によってバラつきがあったように思いました。
- ・150周年機運が(私の中で)高まっている中で、当時の文化・暮らしが目に浮かぶような話が聞けて楽しかった。博物館の方など、専門的な話が分からないこともあったが、いろいろ自分で調べてみよう!と思えるネタがたくさんで面白かったです。様々な角度からのお話が聞けて良かった!
- ・講師が毎回大学教授や有識者である必要はなく、学生グループ・個人等の学習成果の発表といった回があってもよいのではないかと。受講生の年齢層から考えても、未熟であっても刺激のある考え方を聞くことが新たな思考の糧になるのではないかと。
- ・だんだんアカデミックになってきて、市立大学の1講座の体をなしてきた。市民大学は大学という名を付けているが、ユニバーシティでもカレッジでもない。もと身近なものをとりあげれば良い。また、市民提案の採用を増やすべきだ。
- ・勤めていると毎週1回の受講は正直きつい時もあったが、大変有意義な内容で、充実した時間を過ごせた。ご多忙中、準備され講義いただいた先生方に感謝申し上げます。受講生の質問にも真摯にご回答くださりありがとうございました。

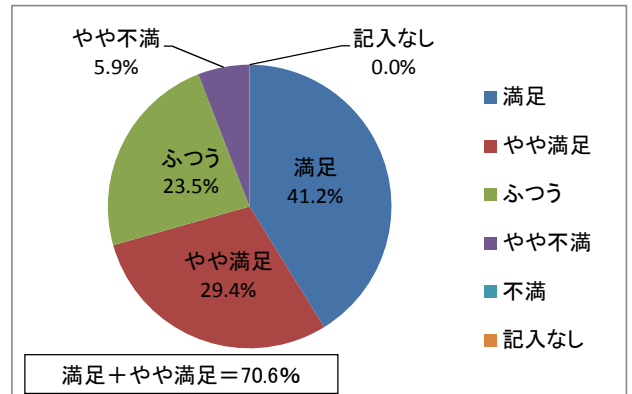
平成30年度(第24期)にいがた市民大学後期ゼミナールアンケート結果 「開港都市に選ばれた『新潟』—その歴史と魅力—」

平成30年9月～11月実施 回答率: 85.0% (17/20)

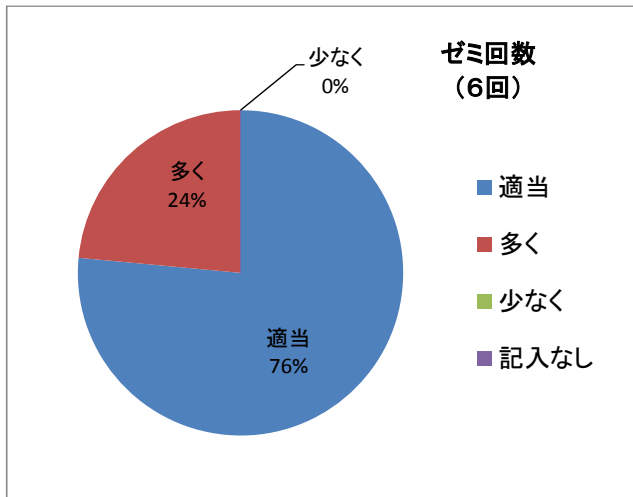
1 年代



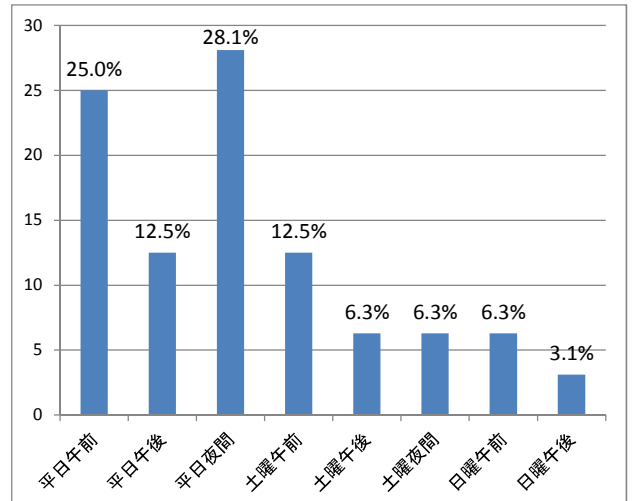
2 満足度



3 希望講座回数



4 希望開催時間帯



5 自由意見, 感想

- ・今回の講座のほか、以前にも2～3回受講したが、いずれも内容、期間などについて満足なものでした。
自分の関心のあるものだけに一層そのように感じました。
- ・私の期待していた内容と違っていた為、満足いかなかった。講座の進め方についても期待はずれ。
(講師の一方的な話だけで受講者とのディスカッションがほとんどなかった)
- ・今回の後期ゼミは、受講生が発言できる時間がほとんどなかったのが残念だった。内容的には良かったのでゼミの回数を増やして受講生からの質問の時間とかを作ってほしかった。特にレポート作成に役立つような過去の資料の探し方など、具体的な話も聞きたかった。
- ・今後とも続行してほしい。後期セミナーは一方的な講義だけでなく、質問など受講生との時間をとってほしい。
「レポート集」を作成されるとのことですが、どんな形になるのかわかりませんが出来たらなんらかの形で反省会の機会をもってほしい。